

膀胱鏡（排尿障害）

はら泌尿器科クリニック

原 浩司



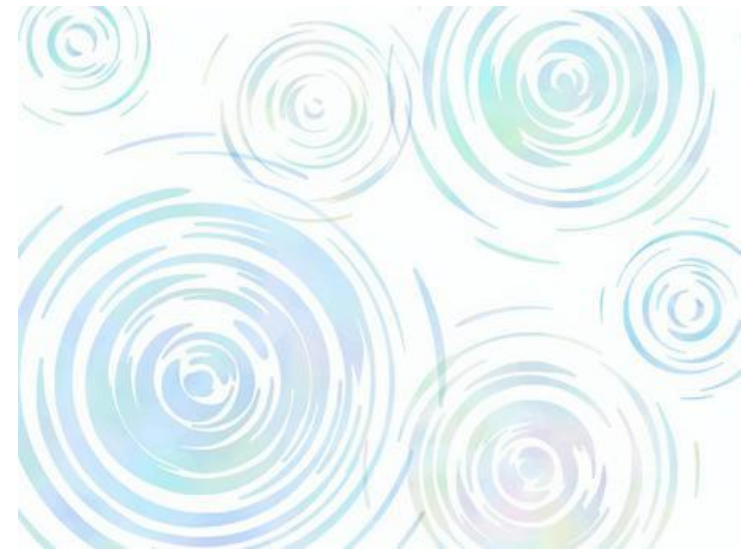
なぜ膀胱鏡??



排尿障害は様々な原因で起こります。

男性でまず浮かぶのは前立腺肥大症と
思いますまた神経因性膀胱 尿道狭窄等
様々な原因が排尿障害の原因となっ
ています。

これらの原因を調べるのには尿波形や
超音波検査だけではなく膀胱内をカ
メラで観察する膀胱鏡が有用です。



男性の場合



尿道の状態 前立腺の状態の評価を行います。前立腺の状態によっては、手術による劇的な改善を期待することもできます。残尿が多い場合、膀胱粘膜を詳細に調べることで肉柱形成の評価や膀胱の機能の程度が評価出来ます。また尿道の狭窄等 尿波形や超音波検査ではわからない所見を得ることが出来ます。



女性の場合



女性の場合膀胱の状態の評価
残尿が多い場合

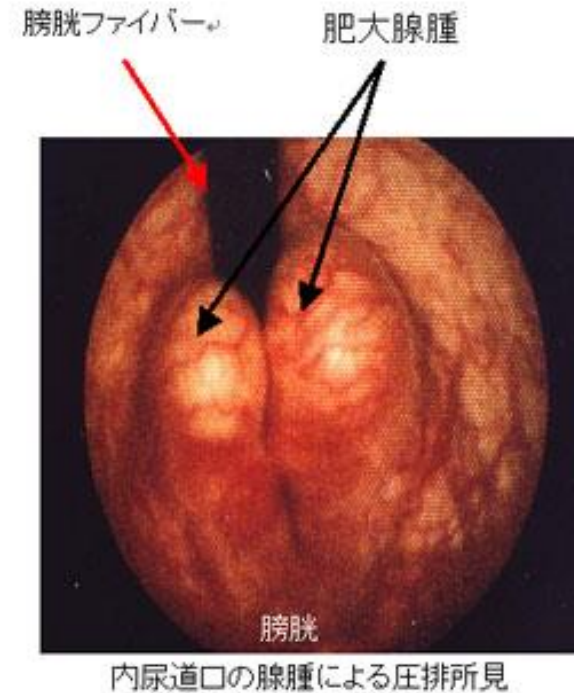
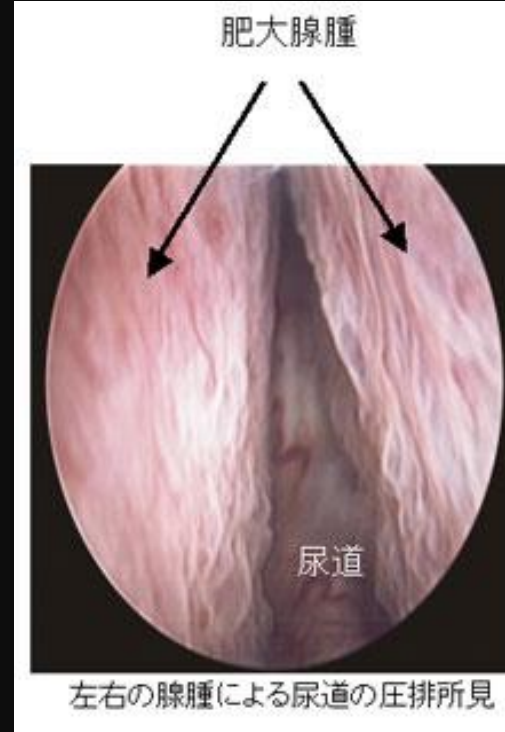
(教科書的には100ml以上の残尿)

神経因性膀胱の可能性がります。
前述したように膀胱の肉柱形成を認めるなど超音波所見では、わからない所見を得ることが出来ます。



前立腺の状態の評価

前立腺の状態の評価します。
前立腺肥大症がある場合には
排尿の出にくさが原因となる
ことが考えられます。



神経因性膀胱

正常な膀胱粘膜所見と
神経因性膀胱の膀胱鏡所見です

神経因性膀胱による肉柱形成を認める場合は膀胱の機能低下を認めます

正常な膀胱粘膜



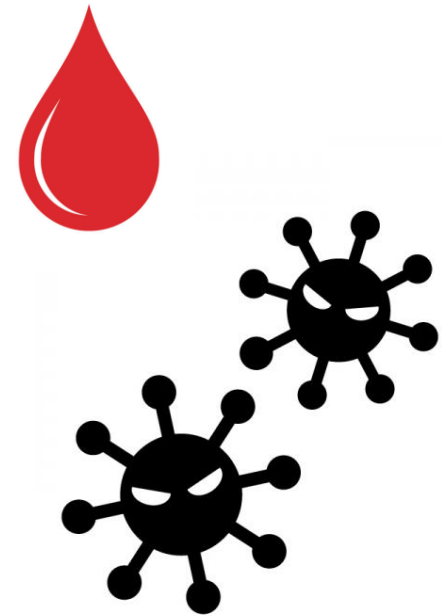
膀胱鏡のデメリット



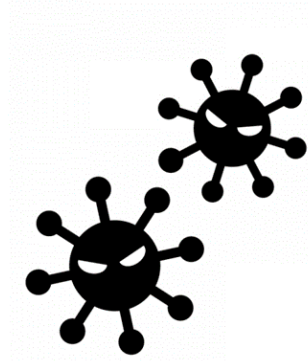
やはり羞恥心があります。

また痛みに関しては個人差がありますので一概に言えませが潤滑ゼリーを使用して検査を行います。男性の場合には前立腺が大きい方では挿入に出血することがあります2から3日程度で改善してゆきます。

感染症のリスクもあり場合によっては抗生剤の内服や点滴が必要となることもあります



感染リスク



膀胱検査によって、尿道や膀胱内に細菌が入り、膀胱炎や前立腺炎を引き起こすことがあります。洗淨 消毒された器具を用いますが、検査後に膀胱炎のような症状が出たり、腎盂腎炎・前立腺炎などを起こし熱が出ることがあります。





これらのリスクを最小限に抑えるために、医療スタッフは洗淨、消毒された器具を使用し、適切な手順を守ります。

また、患者さん自身も検査後に十分な水分を摂取することで、感染リスクを低減することができます。それでもなお、検査後に排尿時の痛み、発熱、または異常な尿の臭いなどの症状が現れた場合は、すぐに医療機関に連絡してください

最後に

